

——どっかが難しい？カリキュラムづくり ——読者アンケート結果より

左記のように、小誌が行った読者アンケートからは、カリキュラムをつくり、実践に生かすことが十分には出来ていない実態が見えてくる。背景には、学校全体でカリキュラムづくりへの意識を高めることや、日々の実践とつなぐことの難しさがあるようだ。

課題

● カリキュラムづくりの現状 ●

教育の重点に基づいたグランドデザインを作成し、それを意識しながら日々の教育活動を進めることが十分出来ていない

教育課程編成の方針、重点に沿った、教育課程の全体構想（グランドデザイン）を作成する



日々の教育活動を、教育課程の全体構想や年間指導計画を意識しながら進める



● 背景にある課題 ●

カリキュラムに対して、
教師全員の意識を高めることが難しい

「教師のカリキュラムづくりに対する意識の低さがある。無くてはならないものになってしまう」

「カリキュラムを作成するのは一部の教師。全員で取り組む体制になりにくい」

カリキュラムと日々の教育実践を
つなぐことが難しい

「日々の学習指導や活動に追われ、それぞれの教育活動の意義やねらいが見えなくなる教師もいる」

「重点目標と具体的な実践事項に必ずしも一貫性がなく、日々の教育活動にまで生かしていないことが多い」

* 2010年9月、全国の『VIEW21』小学版読者モニター（小学校教師）へアンケート用紙を郵送し、ファクスで回収。有効回答数は73

「目指す力」と実践をつなぐカリキュラム

..... 解決のヒント



新課程では、教育内容の重点化を意識したカリキュラムづくりが不可欠

教育創造研究センター所長／北海道教育大特任教授 **高階玲治** 先生 ●●● **P.6**

- 重視すべき項目が多い新課程では、学校ごとに重点項目を定めることが不可欠
- 新しい教科書を見る機会を生かし、教師全員でカリキュラムをつくることで、共通認識を持てる



「目指す力」を明確にし、全教師でカリキュラムを作成。日々の実践を通じ、学校全体のねらいへ向かう

鹿児島県鹿児島市立 **山下小学校** ●●● **P.8**

- 「生きる力」育成のために「学び」を生かす子どもの姿を追求。複数の教科で、生かすべき「学び」の系統や関連を明確にし、カリキュラムをつくる
- カリキュラムづくりにとどまらず、子どもが「学び」を生かすことの出来るように具体的な手立てを講じる

.....
栃木県宇都宮市立 かみかわちにし **上河内西小学校** ●●● **P.14**

- 「目指す児童像」から、教育の重点を定めた「ヘキサゴンプラン」を校長が中心となり設定
- 教師全員で、日常的な教育実践すべてで「ヘキサゴンプラン」を踏まえたねらいの達成を目指す
- 実践における教師の負担軽減を目指して「1人1アイデア」を取り入れる

.....
新潟県上越市立 **春日小学校** ●●● **P.20**

- グランドデザインに示した「二つの力、二つの心」を育めるよう、全教科・領域等の年間カリキュラムを1枚にまとめた「視覚的カリキュラム表」を作成し、それに基づき実践
- 子どもに身に付いた力を確認しながら、実態に応じてカリキュラムを修正していく